

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区湊西3丁目10-14
電話(243)0141
13年6月10日

建設業界中心に社会保険加入の締め付けが始まる!



国が平成29年までに、社会保険の全事業所加入を目指している中、各地の現場で社会保険の加入をしていないと現場に入れないなどの事例が出始めています。

また建設業の許可申請の際も、社会保険の加入の有無を確認する書類があり、加入していないと行政指導をうけます。

各地の建設業の会員からは「このままでは潰されかねない!」と悲鳴に近い訴えが出されており、実態にそぐわない高すぎる保険料に怒りが広がっています。



**年金機構の未加入事業所対策は
民間委託で加入勧奨**

未加入事業所の多い理由は、保険料の負担が会社にとっても、従業員にとっても重いことです。これを解決しないで強制的な加入勧奨がおこなわれています。未加入事業所の洗い出しと勧奨文書と電話・訪問による加入勧奨は、民間会社に委託しています。規模の大きな事業所は年金機構の職員が直接担当しています。

**強制的に加入させ
保険料を取り立てる場合も**

加入の指導に従わない事業所に対しては、立ち入り検査を行って強制的な加入と保険料の取り立てを行っています。

不安と怒りの声が続々と寄せられる

松浜支部の会員は「現場で社会保険の加入について聞かれる。一日一万四〜五千円の手間賃で、職人に一万二千円を払ったらほとんど残らない。どうしても社会保険に加入しろと言うなら、職人の手間賃を削って支払うしか方法はない。国はもっと実態を知ってほしい」と語っています。

また、大形支部の会員は「もし社会保険に加入したら年間で何百万もの負担になる。積算単価が上がらない中で、負担の話ばかりされても困る」と話し、別の会員は「元請が『ゼネコンに掛け合せて単価を上げてもらうから、社会保険に加入しろ』と言うが、その言葉に何の保証も無い。どうしたらいいのか」と不安の声をあげています。

木戸支部の会員は「加入しても払えないのは目に見えているので四年後には廃業」との声も。



**建設業界は元請と
建設業許可を加入指導強化**

下請業者では六割近くが未加入です。国は元請と建設業許可を通じて平成二九年までに未加入をなくす指導を強めています。

国土交通省は労務単価引き上げ・加入を要請

国土交通省は、職人の労務費の算定の根拠になる設計労務単価を全国平均で一五・一%、東日本大震災被災三県で二一%、前年度より引き上げました。そのうえで、建設業四団体トップに対して、建設技能労働者の賃上げと社会保険加入の徹底を要請しました。

共産党の質問に

国交省大臣が「きめ細かな調査」を約束

今回の設計労務単価の引き上げが確実に下請け代金や賃金の引き上げにつながるようになってはなりません。穀田衆議院議員の質問に対し「引上げに伴う賃金水準のきめ細かな調査」を国交大臣が約束しました。社会保険料に潰されない運動に取り組みましょう。

新商連第五〇回定期総会が開催される

六月二日(日)、新潟県商工団体連合会第五〇回定期総会が、東映ホテルにて開催されました。総会には代議員七六名、評議員二五名の計一〇一名が参加しました。

この一年、政権が交替し情勢は大きく変動しました。アベノミクスで景気回復が叫ばれる中でも、中小業者の商売はますます苦しくなっており、憲法改悪、



原発再稼働、TPPと私達の営業と生活が破壊されようとしています。しかし、このような状況であるからこそ、「今こそ民商の出番の情勢だ」と新たな方針が提案され、県内の各民商の代表的な取り組みが紹介されました。

一般討論では、新潟民商から白根支部の高橋支部長と、県青協の長崎副議長が代表で発言しました。

高橋支部長は、白根支部で行なった債権管理課との交渉について発言。白根支部には昨年七月の債権管理課開設から、市税・国保の滞納相談が多く寄せられていました。「全額一括で払え」と言う債権管理課に対し、支部では相談者と役員が集まって対策を話し合い、二度の集団交渉を行いました。集団交渉で生活も商売も続けていけるような返済計画を認めさせることができたと言いました。

県青協の長崎副議長は、この一年間の各青年部の取り組みについて発言しました。「民商で商売を伸ばそう」をモットーに各青年部で取り組まれている学習会や記帳会の取り組みや、青年部が商工フェアや申告相談会の参加を通じて、親民商と連帯した運動が進んでいるという点を発言。最後に、県青協では県内全民商での青年部の確立を目指すと言いました。

方針では、「班・支部活動を中心として、全会員の力で要求と政治を切り結び、対話と訪問活動を展開し、「死活」のかかる参議院選挙で、消費税増税中止・TPP参加中止・改憲阻止の審判を下そう!」「夢・ロマンを持ち、具体化するための計画・運動を」と提起されました。

総会後には、東京大学名誉教授、醍醐先生のアベノミクス・税制についての講演会、そして懇親会があり、大いに盛り上がりました。

若い人の参加で大盛況! 女池支部婦人部「昼食会」開催

五月三十一日、新会員さんの店「明洞」にて、女池支部の婦人部集會を賑やかに開催しました。この集會には総勢一二名が参加しました。

最初に野口婦人部長から、この間の婦人部活動の報告や、今後の婦人部活動への協力をお願いをしました。また、事務局からは、最近の会員さんの状況などを話し、支部総会への参加の訴えがありました。

その後はお楽しみみの昼食会。

「韓国料理って辛いだけでなく、いんだ、どれもおいしいね」と、美味しい食事に舌鼓を打ちながら交流が始まります。消費税の話になるると来賓の五十嵐副部長からは「今年度もお金をかき集めてやつと納付した。税率が上がったらとても払えない」と重税の辛さを訴えました。



支部では、夜の集會だと若い人が出られないので、今回は初の昼の集會として設定しました。参加者からも、この時間帯ならなんとか出られると好評。三〇代〜四〇代の若い人も参加して楽しい集會になりました。

~婦人部よりお知らせ~

日本母親大会の物資購入にご協力下さい

昨年の日本母親大会新潟開催では、たくさんの物資を購入していただきましてありがとうございました。みなさんのおかげで大勢の方から参加していただき、大成功に終わりました。

今年の日本母親大会は東京にて、新潟県母親大会は新発田市・阿賀野市の開催になります。多くの代表を送り、母親大会を成功させるためにも皆様のご理解とご協力をお願い致します。

